

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス鍋島教室			公表日		2026年3月16日		
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		6	0	運動のスペース、静かな部屋、食事スペースが分かれており広さも適切であると思う。		トイレ、手洗い場の数は多い方がよいと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		5	1	子どもの利用数に合わせて配置している。		配置の人数は足りていても、その日の利用児童の支援内容で人員がもっと多いと、もっとたくさんの支援ができると思う。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		6	0	壁には必要最低限の掲示物にし、入室への準備の流れなどを分かりやすく示してある。教室内はジョイントマット敷、段差などはない。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		6	0	利用時間後に毎日清掃を行い、子どもたちは上手に工夫して遊ぶことができている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		6	0	クールダウン時など、必要に応じた部屋の使い方をしている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		5	1	毎日職員全員参加をし、ミーティングを行い振り返りをしている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	送迎時の保護者との会話や、評価表を配布し、回収したものを確認し、業務改善につなげている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		6	0	ミーティング時に意見交換を行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	1	定期的に行っている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		6	0	研修などを設定し定期的を受講し、レポートを提出している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		6	0	児童発達管理責任者が作成している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		6	0	管理責任者が面談を行い、保護者のニーズに合わせた計画書を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		6	0	毎日のミーティング、報告により職員の相互理解を深めている。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		6	0	共有されている。職員はいつでも確認ができるようにされている。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		6	0	年に1回アセスメント表を記入してもらいそれを元に日々の行動と照らし合わせながらアセスメントしている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		6	0	主に児童発達支援管理責任者が一つ一つの項目を設定し具体的な内容を示している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		6	0	一人に任せるのではなく、チームで行っている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		6	0	活動プログラムを考える人を変えながら行っている。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。		6	0	日々のこどもの状況、家庭や、学校での状況に合わせて行っている。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		6	0	毎日必ず打ち合わせを行っている。機能や最近の様子などを踏まえて必要な支援を話し合っている。			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6	0	支援終了後、次の日の打ち合わせで振り返りを行っている。			

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	日誌と個別記録を毎日記録している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切に見直しを行っているか。	6	0	児発官が定期的に保護者との面談により計画の再検討を行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	6	0	組み合わせず支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	宿題はするのか、遊びは何をするのか、おやつを選び取りなど自己決定を促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児発官が担当し参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	協力機関とは、年2回挨拶に行く程度。	更なる連携が必要。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	子どもの下校時に学校の先生と情報共有を行っている。下校時誰かがわからなかった時に電話で確認する場合もある。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	相談員さんとの情報共有はしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	相談員さんを通して情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	必要に応じた研修は行われている。	今後連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	6	コロナ以降減ってしまっている。	機会があれば参加していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	参加できていない。	機会があれば参加していきたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	主に宗げ時に担当職員から伝え、児発管も連絡を取り全職員共通理解している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	運動プログラムの冊子を渡したりチラシやおたよりを渡して情報提供を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明を分かりやすくしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	児発官がしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	児発官が必要に応じて行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	6	できていない。	今後機会を作っていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	マニュアルを作成しており迅速に対応できるように準備している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	月に1回はお便りを発行し、HPにも情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	帆人情報がのっている書類は鍵付きの書庫に収納している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	絵カードなどを用いてわかりやすく行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	4	地域のお祭りなど参加できる場合は参加している。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアルは全て策定してありすぐに確認できるようにしてある。1年を通して訓練を計画しており実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	計画を策定して1年を通して訓練を計画して抜けがないように実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	1年に1回アセスメントシートを記入してもらい確認している。再診後にも確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	植物アレルギーの確認も年に1回行っており対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	担当委員が作成し安全管理に関わることを担当している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	取り組み内容は伝えている。	今後もっと連携が図れるように具体的に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハットの内容を共有は全員行っており今後どうしたらいいか検討出来ている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	定期的に虐待防止研修を行い一人一人が虐待防止に努めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	できるだけ身体拘束を行わなくていいように対策を考えて支援している。	